

妹背牛温泉がリニューアルオープン 充実のサウナでリラックス

大規模改修を終えた妹背牛温泉ペルが4月27日、リニューアルオープンしました。

「サウナー」待望の屋内サウナは、16人がゆったりとくつろげる広さ。自動で水蒸気を発生させる「オートロウリュ」機能付きのサウナストーブを設置しました。10分に1回、天井の装置からサウナストーン目がけて水が放出されると、室内の温度が上昇します。新たにテレビも備えました。

浴室は、白の明るさと黒の落ち着いた雰囲気を楽しめる2種



広くなった屋内サウナは、16人が座ってもゆったりとくつろげます

類。男女入れ替え方式を採用しており、特徴の異なる浴室が日替わりで満喫できます。

露天風呂横には、樽型のバレルサウナを新設。定員は6人で、セルフロウリュも楽しめます。

サウナの拡充に合わせて水風呂の面積を広げたほか、外気浴スペースを確保。売店にはサウナグッズも並べられ、サ活を存分に楽しめる趣向です。

また館内には、新メニューを用意した「味処 米里」、間仕切りの多目的スペース、エレベーターなどもあります。



樽型のバレルサウナはプライベートな空間を演出

雪解けの春 交通安全を願って



交通安全の関係者が参列した祈願祭

令和6年度の交通安全祈願祭が4月8日、妹背牛神社で開かれ、参列者が町の交通安全を願いました。

祈願祭には、関係者30人が参列。交通安全の黄色いたすきを身につけ、神前に玉ぐしをささげました。

祭事後、社務所で町交通安全推進委員会の総会が開かれ、会長を務める田中一典町長は「新しい顔ぶれの皆さんと調和のとれた交通安全の推進を」と述べました。

JR妹背牛駅 ICカード使えます



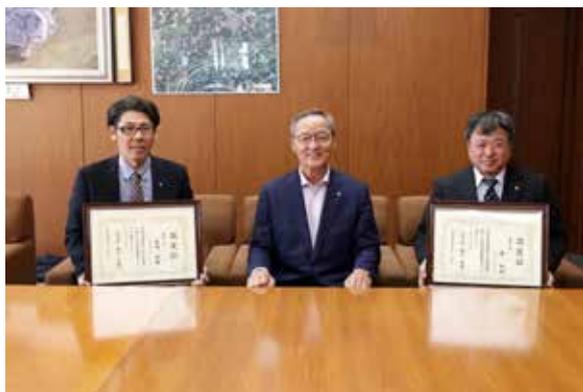
ICカードが使えるJR妹背牛駅の自動改札機

無人のJR函館本線妹背牛駅に、ICカードが使える自動改札機が導入されました。JR北海道のオペレーション変革の一環。キャッシュレス化を推進し、鉄道の利便性向上を図ります。

導入日は3月16日。ICカードが使えるエリアの拡大に伴い、旭川・函館エリアの計20駅に同様の改札機が整備されました。

妹背牛駅には、町の公式キャラクターをあしらった駅名標があり、観光をはじめ、通院や通学で利用する方たちにも喜ばれそうです。

森氏 指導農業士 寺崎氏 農業士



右から、指導農業士の森さん、
田中町長、農業士の寺崎さん

道から指導農業士の認定を受けた森和則さんと、農業士に選ばれた寺崎伊織さんの2人が3月19日、町役場を訪問し、田中一典町長に地域農業の発展に向けた今後の抱負を述べました。

森さんは、減農薬・減化学肥料栽培に取り組むとともに、都市部に住む家族の農業体験を積極的に受け入れ。一方、寺崎さんはラジコンヘリの防除組織に加入し、町内全域の一斉防除に取り組み、防疫体制の改善と生産性の向上に貢献しました。

防犯グッズ 妹小の新1年生に



新保校長（中央）に交通安全・防犯グッズを届けた向井会長（左）と鈴木会長

安全な学校生活を送ってもらうと、妹背牛町交通安全協会（向井敏則会長）と妹背牛町防犯協会（鈴木正彦会長）などは3月19日、町立妹背牛小学校の新入学児童11人に使ってもらう交通安全・防犯グッズを贈呈しました。

グッズは、黄色い通学帽子や夜光反射レッスンバッグ、防犯ブザーなど。向井会長と鈴木会長が新保秀樹校長に届け、4月5日の入学式で新1年生に贈られました。

妹背牛でカーリングの全国大会



全国の強豪チームと熱戦を繰り広げた「妹背牛協会」の選手たち

21歳未満の選手で競う「第32回日本ジュニアカーリング選手権大会」（日本カーリング協会主催）が3月19日～24日の日程で、妹背牛町カーリングホールで開催されました。全国各地の予選を勝ち抜いた強豪チームが熱戦を展開しました。

男女各8チームが出場。開催地推薦の「妹背牛協会」も、氷上のリンクで頭脳戦を繰り広げました。男子は常呂ジュニア（北見市）、女子は札幌国際大がそれぞれ優勝しました。

ハーブリキュール より飲みやすく



ハーブ「アップルミント」を原料にしたリキュール「葉舞（はーぶ）な里から」がリニューアルされ、4月1日から町内で販売されています。アルコール度数を16%から9%に下げることによって飲みやすくなり、幅広い世代に楽しんでもらえる味わいです。

リニューアルして飲みやすくなったハーブリキュール

ほのかにハーブの香りが楽しめるリキュールは、さわやかな口当たり。オンザロックかソーダ割がおすすめの飲み方といえます。

価格は、1本500ミリリットル入り税込み1800円。販売所は、五十川商店、堀口商店、浜井商店、妹背牛振興公社の4カ所です。